

授業科目(ナンバリング)	英語コミュニケーションB(GD110)			担当教員	※山崎 祐一		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
異文化コミュニケーションに不可欠な「目標文化圏における思想や価値観の理解」を意識しつつ、英語圏文化やその中のコミュニケーションの在り方と日本独自の文化との相違を視野におさめ、目的や場面、状況に応じて英語を用いた幅広いコミュニケーション能力を育成します。発音や文法についても、必要と思われる箇所では必ず触れ、「自然な英語」を話す力を身に付けます。							②⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で学んだ表現を使用し、場面に応じた受け答えができる。</li> <li>事物や人物を英語で描写できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の活動</li> <li>会話テスト</li> </ul>	30%	30%
協働・課題解決力							
多様性理解力	異文化間コミュニケーションの観点から、文化の影響を理解し、場面に適切な英語表現を選択できる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>課題</li> <li>定期試験</li> <li>または随時試験</li> </ul>	15%	25%
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
英語で即座にやり取りができるコミュニケーション能力が身に付いたかどうかを評価します。発音は、こだわり過ぎると学習者を口ごもらせる原因にもなり得ますが、音の連結や脱落によって、簡単な文章も理解できなかつたり、イントネーションの微妙な違いによって誤解を招いたりすることもある、という点では無視できません。標準的な英語発音ができるようになったかどうかを確認しフィードバックします。また、英語圏文化と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景やマナーについて考え、異文化理解に対する意識の向上と、異質なものを容認する寛容性や柔軟性が身に付いたかどうかを評価します。中間試験、会話テスト、課題については、次回授業時にフィードバックを行います。							
授業の概要							
目的や場面、状況に応じて、言語活動を通して英語を使って上手く機能し、適切に対応しながらやり取りや発表をすることができるようになるために、リスニングやスピーキングの活動を中心に、その場面にふさわしい英語表現を機能やトピックを提示し、実用的な英語の習得を目指します。英語圏と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景やマナーについても考え、異文化理解に対する意識の向上と、異質なものを容認する態度の育成に努めます。(この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。)							
教科書・参考書							
<p>教科書：『すぐに使える英会話 対話ミニフレーズ 300』山崎祐一 著 (Jリサーチ出版)</p> <p>* 「英語コミュニケーションA」と同じ教科書です。「英語コミュニケーションA」を履修した人は、新たに購入する必要はありません。</p> <p>参考書：『瞬時に話せる英会話大特訓』山崎祐一 著 (Jリサーチ出版)</p> <p>指定図書：『ネイティブが会話で1番よく使う英文法』山崎祐一 著 (Jリサーチ出版)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>留学を希望する日本人の学生で、「英語コミュニケーションA」を受講した学生の受講を期待します。</li> <li>第1回目の授業に必ず出席してください。</li> <li>授業では、ペアワークなど「話す力」を向上させるための練習を行いますので、積極的に参加してください。</li> <li>言葉と文化の関係についても楽しく学び、社会で役立つ異文化コミュニケーションの力を身に付けましょう。</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	異文化コミュニケーションとグローバル教育	グローバル人材育成と語学力・コミュニケーション能力、異文化理解との関連	シラバスの内容を読む。 前期に学んだ表現及び発音の音読練習
2	Chapter 3 日常生活表現①	健康、趣味について話す	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読①
3	Chapter 3 日常生活表現②	パーティーの席で話す	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読②
4	Chapter 4 海外での対話表現①	空港、機内、ホテルで話す	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読③
5	Chapter 4 海外での対話表現②	道を聞く・教える、食事の場で話す	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読④
6	中間試験(1) ダイアログの応用	既習のダイアログの確認と発展	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑤
7	Chapter 4 海外での対話表現③	買い物の会話、トラブルへの対応	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑥
8	Chapter 5 仕事に関連する対話表現①	オフィスで話す、業務を勧める	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑦
9	異文化コミュニケーション①	異文化理解と発音・リスニング演習(1)	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑧
10	異文化コミュニケーション②	異文化理解と発音・リスニング演習(2)	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑨
11	異文化コミュニケーション③	異文化理解と発音・リスニング演習(3)	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑩
12	中間試験(2) ダイアログの応用	既習のダイアログの確認と発展	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑪
13	Chapter 5 仕事に関連する対話表現②	商談をする、会社を訪問する	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑫
14	Chapter 5 仕事に関連する対話表現③	会議・議論をする	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑬
15	リキャップと復習	異文化コミュニケーションに必要な知識及び技能に関する総括	教科書の既習ユニットの復習と、ダイアログの音読⑭
16	期末試験	本講義で学んだ内容の確認	